

# 第2回体力・運動能力向上の場に関する分科会 会議録

## 【日時】

令和2年7月30日（木）午後2時～午後3時35分

## 【場所】

郡山市総合福祉センター 5階 集会室

## 【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事  
(1) 子どもの遊び場の現状について  
    <審議事項>子どもの遊び場の今後の運営について
- 4 その他
- 5 閉会

## 【出席委員】

6名（敬称略）

大川原 順一、佐藤 真澄、濱津 真紀子、福内 浩明、箭内 孝仁、大和田 正恵  
（オブザーバー）滝田 良子

## 【欠席委員】

3名（敬称略）

佐藤 一夫、隅越 誠、山田 祐陽

## 【事務局職員】

7名

こども未来課：伊藤 恵美（課長）、穴戸 正浩（課長補佐）、  
                  鵜川 哲郎（主任主査兼こども企画係長）、小林 祐貴子（こども企画係主査）  
こども支援課：伊藤 克也（課長）、佐藤 嘉洋（課長補佐）、  
                  佐藤 香（主任主査兼子育て支援係長）

## 【配布資料】

- ・子どもの遊び場一覧
- ・遊び場のパンフレット

.....

### 1 開会

（穴戸補佐）

定刻となったので、ただいまより「第2回体力・運動能力向上の場分科会」を開催する。

本日は9名中6名の委員が出席しており、郡山市子ども・子育て条例第5条第2項の規定の準用により、会議が成立していることを報告する。

### 2 会長あいさつ

【大川原会長から挨拶がある。】

### 3 議事

【議事の前に、穴戸補佐から本日配布した資料の確認がある。】

(穴戸補佐)

それでは「議事」に移るが、以降の会議の進行については、郡山市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定を準用し、大川原会長に議長をお願いする。

(大川原会長)

それでは、議長を務めさせていただく。  
まず、子どもの遊び場の現状について、事務局から説明願う。

【事務局：伊藤（恵）課長から説明がある。】

(伊藤（克）課長)

続けて、こども支援課からペップキッズ郡山の概要について説明する。

【事務局：佐藤（香）管理係長から、資料に沿って説明がある。】

(伊藤（克）課長)

続けて、受託事業者の認定 NPO 法人郡山ペップ子育てネットワーク理事長菊池信太郎様よりペップキッズ郡山の現状についてお話いただく。

【菊池理事長から説明がある。】

(大川原会長)

続けて、その他の遊び場について、事務局から説明願う。

【事務局：鶴川係長から、資料に沿って説明がある。】

(大川原会長)

ただいまの事務局からの説明について、質問や意見はあるか？

(滝田委員※オブザーバー)

委員の方々には、ぜひ遊び場を実際にご覧いただいてほしい。子どもたちの様子は常に笑顔である。そして、「保護者とともに」という点がどこの遊び場も一緒なので両親・祖父母と一緒にいる子ども達の笑顔が宝であると感じている。

最後にもう一つ、子ども達の体力が落ちたと菊池理事長もおっしゃっていたが、幼児教育に携わっていて、投げる・蹴るなどの「36の動き」がほとんど出来ていないと実感している。しかし、子どもの遊び場で遊ぶことによりその力が培われる点がすごいと思う。

(福内委員)

ペップキッズ郡山とその他の遊び場を比べると、市の一般財源の割合がペップキッズ郡山はとても少ないがその理由は何かあるのか。

(佐藤(香) 管理係長)

震災後、初めて室内遊び場を立ち上げたのがペップキッズ郡山であり、放射線への影響を考えた施設として国から被災者支援として予算をつけてもらったのが始まりである。一方、放射線量が低下し安定してきた状態の中で出来た施設については、国としては被災者支援として予算をつけるのは、なかなか厳しい状況になっている。

(福内委員)

福島県民、郡山市民として来年で震災から10年たつが、風評被害や公園の廃棄物の廃棄が今年になって始まったところもあり、まだまだ震災は終わっていない。

公園で遊べず、体力が落ちている子どもがおり大変である状況であるなら、国がお金を出せない時には市でどんどん出せばいいのではないかと。なぜ出来ないのかよく分からない。

(伊藤(克) 課長)

ペップキッズ郡山は被災者支援という形で設置され、国庫補助は10/10という形だった。震災から10年経過していくと、当然その目的も変わってくることになる。その中で目的に合致した形で予算をつけて施設の継続をするか廃止するかを考える時期に来ているので、皆様のご意見をいただきたいということで挙げたものであり、福内委員から頂いた「なぜ市でお金を出さないのか」という意見も検討の材料となってくるので、色々なご意見を頂ければと思う。

(福内委員)

力強いご意見をいただきました。この事業にお金を出すことについて市民は誰も反対する人はいないと思うため、日本一の素晴らしい施設にしていただければありがたいと思う。

(大川原会長)

貴重な意見を頂いた。郡山の各遊び場に関しての国の補助は大幅に削減される流れになっているということをお聞きした。したがって、その財源や運営を考えていかなければならないということである。

他に何かご意見等あるか。

(箭内委員)

ペップキッズ郡山の観点で言えば、需要が30万、他の遊び場は4つ足しても30万に達していない。それだけ市民が望んでいるということだと私は思っている。先程説明があった中で、目的が異なってきているのであれば、目的を変えればよいのではないかと。それぐらいやって市民の要望に応えるべきだと思うし、市のほうで予算を取らなければこれを廃止にした段階で郡山市民から不評が来る。それぐらいの覚悟を持って市もやるのかやらないのかを示すべきだと思う。

(大和田委員)

ペップキッズ郡山の曜日別の解説では、土日については断らざるを得ない予約状況だということだったが、他の施設の曜日別の利用状況が分かれば、遊び場全体がネットワークでつながっているわけではないが、ペップキッズ郡山で受け切れないときの案内や「この施設ではこの遊びができる」というようなことが情報として流すことができるのであれば予約に漏れた方々もいくらか参考にできると思う。そのような情報が流せるのなら他の施設の利用状況も上がるのではないかと。

それから、10年目を迎えて震災の予算が切られるという心配もしている。先程財源の話が

出たがペップキッズ郡山も国からの補助がどうなるかが一つ心配要素である。そうなると、先程も意見が出たが郡山市の方である程度利用状況を見ながらテコ入れも必要になってくるのかなと思う。また、ペップキッズ郡山でこれだけの利用があったけれどもコロナウイルスのために人数制限をしなくてはならないということになれば、予約に溢れるのは分かるわけなのでその対策としてどんなことが出来るのか考えていく必要があるという風に思う。

(鶴川係長)

ご意見の中で土日に集中するということがあったが、ペップキッズ郡山以外の遊び場でも利用者が多い日は土日に集中しており、屋内施設については密にならない程度の制限をかけている。場所によっては30人しか入れないという規制をかけたとすると、誰かが帰らないと入れないという状況が発生している。そういう状況で、土日にペップキッズ郡山以外の遊び場に回すとなってもどこの施設もいっぱいというのが現状であり、平日は余裕があるがその辺が難しい課題だと思っている。

(大川原会長)

さらに事務局から何か意見はあるか。

(佐藤(香)管理係長)

「土日の予約がいっぱいで何か対策を」というお話をされていたが、先程菊池理事長からもいくつか対応策のお話があったが、やはり現状の電話だけだと利用者からも不満があるし、対応するスタッフも何人か電話対応の為に人を割かれてしまう状況であり、あまりよろしい状態ではない。何とかしたいということは運営側・市側ともに考えている。

この時代では、皆さんインターネットを利用したウェブ予約を特に若いお父さんお母さんと時間がかからず24時間いつでもできることから希望する意見を頂戴している事実もあり、今後はそういう方向に向けて検討している段階である。

(伊藤(克)課長)

復興庁の予算という形でペップキッズ郡山が立ち上がったが、その当時は被災者支援のために満額国が出すという話であった。しかし、毎年国内で様々な災害が起きており、東日本大震災だけにその予算をという訳には行かなくなってくるというところがあり、年々その予算は削りたいという話が国から出ている。それに対して郡山市がどうするかという話であるが、先程話したように皆様のご意見を頂きながら進めていきたいと思っている。

それと合わせて、先程菊池理事長から有料化という説明もあったと思う。例えばということで皆さんにお聞きしたいと思っているが、総合体育館であれば1回何百円といった費用負担が必ず付いてくるが、そういったことをこの子どもの施設で取り入れることについてご意見を頂ければ非常にありがたい。

(大川原会長)

ペップキッズ郡山を利用するにあたって有料化するという考え方について、委員の方々の意見を伺わせてほしいという提案があったが、皆さんの考えはいかがでしょうか。

(濱津委員)

ペップキッズ郡山の方で有料化したいと言え、市のほうでもそれを認めることになるのか。有料化に関して何か手続きを踏まなくてはならないのか、それとも郡山市としてはペップキッズ郡山の判断があれば有料化の方向で動けるのか、そこをまず前提としてお聞きしたい。

(伊藤(克) 課長)

ペップキッズ郡山は市の施設であり定めはある。その中で利用料金をいくらにするかを定める必要は出てくるが、定め方も色々ある。例えば大槻公園や八山田こども公園は指定管理だが、ペップキッズ郡山は直営で行っておりそのような運営形態を変える方法も一つある。いずれにしても、条例等で定めていく必要は出てくる。

(濱津委員)

手続きを踏めば、有料化は問題ないということがわかった。

年間 30 万人も利用しているということならば、利用者側としてもペップキッズ郡山やその他の公園等を支えていきたい気持ちがあると思う。いくらぐらいまでなら出せるかなど利用者にアンケートをしてみるのも一つだと思う。お子さんが多いと高くなって困るというものもあるが、無くなっては困るという人もいると思うので、そういう人たちの意見を汲み上げる面でも声を聞いてみるのもいいかと思う。

(大川原会長)

只今の意見は利用者様の意見に立ったものであると思うが、ほかに意見はあるか。

(福内委員)

私は基本的には有料化に反対だったが、菊池理事長の話を聞いて有料化も仕方ないのかという気持ちも芽生えた。ビッグアイのスペースパークでは 100 円取っており、100 円でも取れば全然違うなと思った。しかし有料化すると、例えばペップキッズ郡山だととても小さい子どもが対象であり子どもと遊ぶスタッフもいるが、もしもケガなどがあった場合に管理者責任を問われることはあるのか。

(伊藤(克) 課長)

郡山市としては市全体で市民が活動する場合の保険というものがあり、万が一のケガなどがあった場合はその保険を適用して十分対応できると考えている。

(福内委員)

ペップキッズ郡山は受託しており、そこのスタッフは市の職員ではないと思うがそこは大丈夫なのか。

(伊藤(克) 課長)

ペップキッズ郡山は市の施設という位置づけであり、その点から対応は可能である。

(大川原会長)

その他、有料化についてご意見はあるか。

(佐藤(真) 委員)

ペップキッズ郡山は子育て支援の一環としてやっているという話があったが、毎日リピーターがいるということで、例えば大人 100 円、子ども 50 円としてリピーターが月 20 回平日にお子さんを 2、3 人抱えてきたとしたら、子育てに専念しているお母さんであれば結構な負担になると思う。そうすると主婦の立場から見るとペップキッズ郡山には毎日行けないかなと思ってしまおうと感じたがいかがか。

(濱津委員)

アイデア次第でないかと思う。1日100円で何十日となると高いので、月何回でも来れるような月間パスポートみたいなものを設定すれば何とか低廉な費用で参加できるのではないかと思う。

(大川原会長)

有料化すれば費用負担が増えるのではないかというご意見とそれを軽減化する方法もあるというご意見が出たが、非常に難しい案件であるが、他にご意見はあるか。

(福内委員)

有料化にした場合に、実際に寄附を出している人たちが退いてしまわないかというものがあるのではないかと思う。今は無料でみんな頑張っているのだから助けてあげようという思いがあるが、100円でも200円でも取ったなら「もういいべ」となるのが怖いのではないかと私は思った。

(大川原会長)

有料化で財源が取れるのであれば、寄附が減少してしまうのではないかという問題点が福内委員から挙がったと思う。それではよろしいでしょうか。

(箭内委員)

菊池理事長からあったスタッフの処遇という観点からいくと、労働者側から言うと、若い人が辞めていくというのは賃金なりということもあると思う。そういう部分から言えば、市のほうから予算的にいくら出せるかわからない面もあるので、若干お金を有料化しながらでも雇用を守る、処遇の改善という点から見れば仕方ないのかと思っている。

(大川原会長)

ご意見としてほぼ財源の問題に集中しているということは継続が前提ということだと思うが、その点については次回の分科会でも審議を続けていきたいと思う。本日の皆さんから頂いた意見は回答が必要なものについては、次回までに準備していただくということをお願いしたい。

(伊藤(恵) 課長)

市の財源は必要なら出すべきだという意見があったが、子どもの遊び場についてもその様に受け止めている。合わせて、子どもの遊び場が屋内遊び場として都市公園の所に東西南北4か所あるが、この施設についても次回こういうあり方があるのではないかという意見があればお寄せ頂きたいと思う。

(大川原会長)

全ての議事が終了したので、議長の職を解かせていただく。

#### 4 その他

(穴戸補佐)

その他について何かあるか？

(大和田委員)

郡山市内にある公園の遊具のサビなどの話があったが、こども部以外で公園緑地課が持っている施設もたくさんあると思う。公園緑地課で持っている市内の公園の情報などの分かりやすい資料があれば教えて頂きたい。

例えば、富田町のホームセンター（※郡山北警察署近く）のところに広い公園だろうという場所があるが、そこにごみが運ばれていたりする実態があるのかなと思った。もし上手くそういう所が整備できれば、ペップキッズ郡山などから溢れた人たちに知ってもらい行ってくれるかと思ったので、その辺の資料があれば知りたいと思った。

(伊藤（恵）課長)

こども部所管ではないので、担当部署に確認して公園の特徴や除去土壌、整備の状況を確認して次回の分科会の際に提示したい。

(福内委員)

公園緑地課の問題だと思うが、21世紀公園や開成山公園で夏場になると、水の流れる施設の水が全く流れていない。市民は「豊田浄水場が無くなったから水を止めたのだろう。」と言っているが、なぜ夏場なのに水も流さず、水辺の環境をきれいにしないのか。「水と緑の云々」と言っているにも関わらず公園の環境が悪いのは、郡山のイメージが悪くなる原因だと思うので変えて頂きたい。

(伊藤（恵）課長)

その意見を公園緑地課のほうに伝え、なぜなのか調べたい。

(鶴川係長)

スケジュールのほうでも示したが、次回の会議は現段階では8月の最終木曜日辺りで調整したいと思う。正式に決まったら通知を差し上げる。

## 5 閉会

(穴戸補佐)

以上をもって、会議を終了する。

以 上